

# カトラリーの歴史

食卓に並んでいるカトラリーが、いつ頃から使われているかご存知でしょうか？今回はカトラリーの歴史について調べてみました。



## ・スプーン

遺跡から木匙や石匙が見つっていますが、食事には使われておらず、箸が伝わってくるまでは手で食べていたそうです。

食事用のスプーンは箸とともに中国から伝わってきました。しかし貴族しか使用せず庶民には伝わらなかった為か、室町時代以降は食卓から姿を消しました。江戸時代に入り西洋料理が普及するとともに、庶民の食卓にも並ぶようになりました。

## ・ナイフ/フォーク

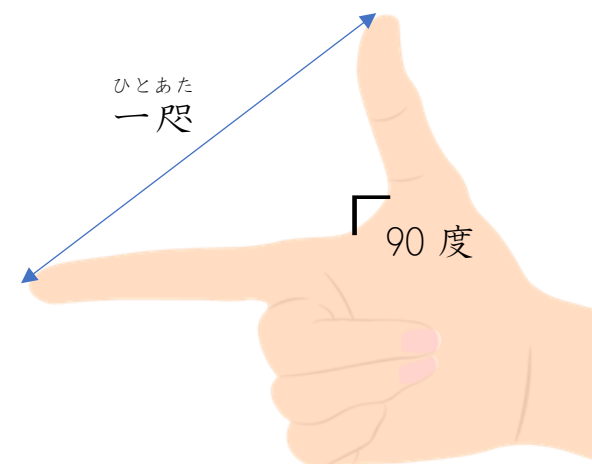
日本には同時期に入ってきましたが、西洋ではナイフの方が早く食卓に並び、フォークは受け入れられるまでに時間がかかったそうです。

## ・箸

弥生～古墳時代にも箸の様な物はあったそうですが、神器のような物で食事用ではなかったとされています。

7世紀ごろに中国から伝わり、長い年月をかけて広がっていったそうです。

### お箸の長さの目安



人差し指と親指を直角にした時の長さを一咫（ひとあた）と言い、一咫の1.5倍の長さがその人に適した長さと言われています。人によって長め・短めの好みもありますので、あくまでも目安です。